



株主の皆様へ

第71期 報告書

2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

++ INNOVATION

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

証券コード 7887

【経営理念】

私たち南海プライウッドは、
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、
お客様の求める真の価値を創造し、
ステークホルダーおよび社会との
調和ある安定成長を実現します。

【コーポレートステートメント】

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。
安心・安全・快適。品質第一のもののづくりを推進し、
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために
社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために
CSR／コンプライアンスを経営の中枢においた
態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なおお客様の笑顔を守り、
信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した
態勢を構築します。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、社会経済活動の正常化に伴う景気の持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ウクライナ危機の長期化や中東情勢の悪化、円安基調の経済情勢を背景に、原材料価格及びエネルギー価格は上昇を続けており物価上昇による耐久消費財の需要が低下する等、依然として厳しい環境が続いております。

住宅関連業界におきましては、全般的な物価高騰の影響で実質賃金のマイナス推移が過去最長となったこと等により、住宅取得マインドが低下し受注数の減少が顕著となりました。また、日銀の金融緩和政策の転換に伴う住宅ローン金利上昇の懸念もあり、今後の経営を取り巻く環境は益々厳しさを増しております。

このような状況のなか、当社グループは、木材関連事業では事業コスト全般の上昇が当社グループの業績に重大な影響を与えていることから、円安への為替対策や生産性の更なる向上、サプライチェーンの見直し等各種コストダウンに取り組みました。また、収納製品の更なるシェア拡大を目指し、アートナンバーの新シリーズ等の収納カテゴリ製品のラインナップ拡充と拡販に努めました。また当社は「収納を通してお客様の暮らしの向上を実現する」をコンセプトに、様々な収納ノウハウを取り入れた体感型ショールームを全国4か所に開設してきましたが、2023年12月には香川県高松市に香川ショールームをリニューアルオープンし、収納のプロが提案する収納アイデアを詰め込んだ収納特化型ショールームとして当社製品の利用方法まで含めた魅力を認知していただくための拠点として活用して参ります。さらに、昨年度にリニューアルオープンしました東京ショールームでは、ご来場者様の内3割を超えるお客様がリフォームをご検討中であつたことから「収納リフォーム」という分野に一定の手応えを得る状況となりました。今後もより一層多くのお客様にご満足いただけるよう製品、サービスの向上に努めて参ります。

電線関連事業では、価格競争は一段と厳しさを増しており、販売価格の見直しと利益管理の改善に注力いたしました。引き続き、徹底した原価管理や販売品目の見直しによる利益率改善に重点を置きつつ、大型物件の獲得にもチャレンジして参ります。

一般管工事関連事業では、業界全体の人材不足問題が深刻な状況である中、当社グループも同様に人材不足の状況が継続しており、現場管理の人員や体制の整備強化が必要な状況が継続しております。引き続き技術向上や人材確保に努め収益拡大に取り組んで参ります。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高23,774百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益848百万円(前年同期比6.4%減)、経常利益1,844百万円(前年同期比109.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益948百万円(前年同期比40.4%減)となりました。

今後も株主の皆様のご期待に応えるべく、グループ一丸となって取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年6月

NEW OPEN 2023

完全予約制

KAGAWA SHOWROOM

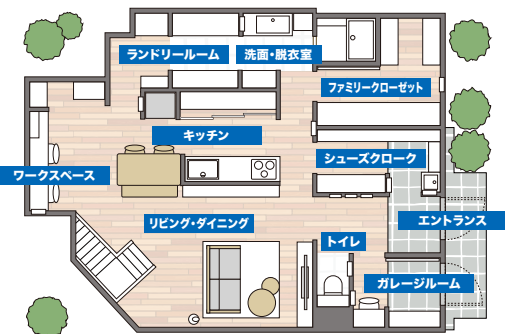
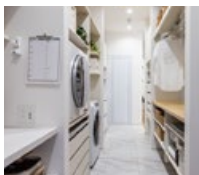
香川ショールーム

香川県高松市に香川ショールームを移転オープン!

**快適な収納で暮らしのストレスがない家づくりを応援。
悩みを解決する体験型ショールーム。**

コンセプトを一新した香川ショールームは、人気の間取りに最適な収納プランをご提案!
家族4人とペットが毎日使うモノや収納量をリアルに再現しています。

香川ショールームでは、快適な生活動線や時短できる家事動線を考慮した間取りに、最適な収納プランを設置しています。
工務店様や一般施主様などを対象に、間取りを決める前、家づくりの参考になる体感型ショールームを移転オープンいたしました。





さらに利便性を向上した主力製品が続々リニューアル!!

**主力製品「アートランバー」の施工性と安全性が向上!
「ノエル3」に機能的な新しいプランをラインナップ!**

より分かりやすく、より使いやすく。
ユーザー満足度をさらに高めた「アートランバー」

様々なシーンで使い分けができる万能な棚板です。
さらなる満足度のために使う人の安全性や施工性を
配慮した規格バリエーションをラインナップしました。



アートランバー-Sタイプ
(ジャストフィットサイズ)



アートランバー-Rタイプ

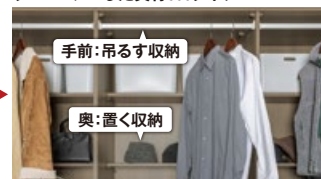
奥行600タイプの規格をリニューアル!
より機能性をアップした「ノエル3」

ハンガーパイプ奥に奥行300タイプの棚板を設置することで、
手前と奥に収納スペースが作れるようになりました。
「ノエル3」は、さらに便利に、使い勝手の良いクローゼットへ。

従来の奥行600タイプ



リニューアルした奥行600タイプ



手前と奥を上手に活用した新しい収納方法です。

決算ハイライト

連結損益計算書

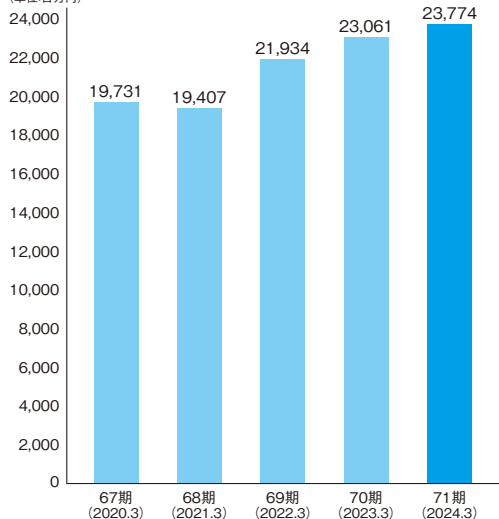
(単位:百万円)

	前連結会計年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	当連結会計年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
売上高	23,061	23,774
売上原価	16,542	17,093
売上総利益	6,519	6,681
販売費及び一般管理費	5,613	5,832
営業利益	906	848
営業外収益	331	1,203
営業外費用	357	207
経常利益	880	1,844
特別利益	680	9
特別損失	531	24
税金等調整前当期純利益	1,029	1,829
法人税等	△577	862
当期純利益	1,606	967
非支配株主に帰属する当期純利益	15	18
親会社株式に帰属する当期純利益	1,590	948

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

▽売上高の推移

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書

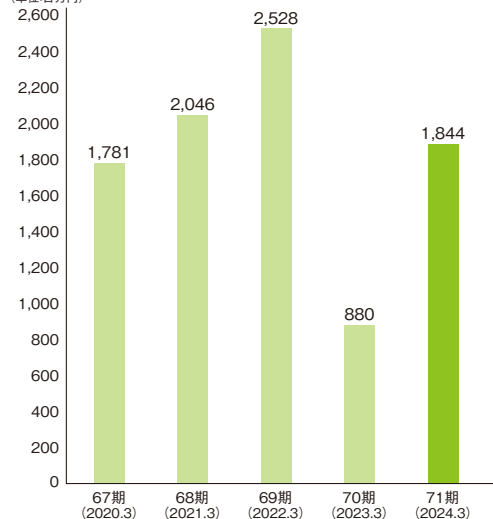
(単位:百万円)

	前連結会計年度 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	当連結会計年度 2023年4月1日から 2024年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,587	3,414
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,927	△1,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,989	△1,301
現金及び現金同等物に係る換算差額	180	42
現金及び現金同等物の増減額	△344	524
現金及び現金同等物の期首残高	3,331	2,986
現金及び現金同等物の期末残高	2,986	3,511

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

▽経常利益の推移

(単位:百万円)



当期の概況

(木材関連事業)

当セグメントにおける、国内市場については円安相場による仕入コストの上昇やエネルギーコストの高止まりが依然として継続しており、生産面においてはサプライチェーンの見直しや徹底した生産効率化といったコスト削減施策を実施し、販売面においてもお客様に適正価格への改定のご協力をお願いする等、採算性を確保するための取り組みに注力いたしました。この他収納製品のラインナップの拡充の他、将来の住宅着工戸数減少に備え、リフォーム市場に向けた販促活動も推進いたしました。また、海外市場についてはフランス子会社の合板製造販売事業において、製造工程の見直しによる黒字化を目指しております。合板製造においてエネルギー価格は特に重要な原価要素ですが、エネルギー価格がウクライナ危機前の水準に戻りつつあることや、生産工程の省エネ化改革を推進していることにより、徐々に生産効率が改善しております。半面、欧州における金融の引き締めや商品、サービスに対する価格の高止まり等の影響は未だに継続しているため、引き続き歩留率やプロダクトミックスの改善も併せて実施し、経営状況の改善に取り組んで参ります。

この結果、当セグメントの業績は、売上高21,583百万円(前年同期比2.8%増)、セグメント利益729百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

(電線関連事業)

当セグメントでは、地方における電材業界に寄与する物件の新設が減少傾向にあることに対応するため、新規顧客の開拓、小口販売の拡充等の営業強化に取り組まれましたが、電材仕入価格の高止まりに加え、一時電線メーカーからの電線の供給不足により営業活動に制約が生じる等非常に厳しい事業環境となり、セグメント利益率は低下する状況となりました。

この結果、当セグメントの業績は、売上高1,634百万円(前年同期比3.6%増)、セグメント利益25百万円(前年同期比37.2%減)となりました。

(一般管工事関連事業)

当セグメントでは、引き続き顧客の設備投資および設備改修工事が好調であり、安定的に工事物件を受注することができました。資材価格が上昇している中、受注が増加したことや工事単位の利益管理を徹底したことで利益額は前年同期と比較し上昇する状況となりました。

この結果、当セグメントの業績は、売上高556百万円(前年同期比11.7%増)、セグメント利益65百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

次期の見通し

(木材関連事業)

木材関連事業におきましては、新設住宅着工戸数の減少に向けて、これに依存しない新築市場以外での収益獲得を重要課題としております。その中で当社は収納材の強みを活かした「収納リフォーム」分野の確立を目指しており、販路の開拓と合わせてショールームやSNS、動画コンテンツ等を組み合わせた認知度向上の取り組みを実施し、収益拡大に積極的に取り組んで参ります。また新築住宅市場においても職人不足等の業界問題を考慮した省施工型の収納製品やデザイン性、快適性、居住性に優れた戦略的な商品開発を推進し、施工業者様からユーザー様まで満足度に優れた独自性のある製品展開を推進して参ります。この他、フランス子会社やインドネシア子会社で製造した製品の海外市場での販売拡大も重点課題と位置づけ、海外市場における安定収益獲得を目指した戦略的な商品開発や体制の整備に取り組んで参ります。

この結果、当セグメントの業績は、売上高22,622百万円(前年同期比4.8%増)、セグメント利益611百万円(前年同期比24.3%減)になるものと予想しております。

(電線関連事業)

電材業界におきましては、引き続き、四国エリアの新設物件が低迷するなか価格競争に対応していくため、営業組織の体制の整備、営業担当者の育成に注力して、新規顧客の獲得を目指して参ります。

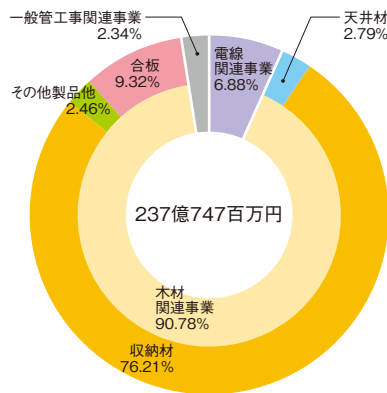
この結果、当セグメントの業績は、売上高1,728百万円(前年同期比5.7%増)、セグメント利益27百万円(前年同期比6.9%増)になるものと予想しております。

(一般管工事関連事業)

一般管工事におきましては、需要が回復し安定した市場環境が見込まれることから、新規顧客の獲得による販路拡大や新たな技術の取得による工事範囲の拡大、人材育成と技術継承等の人的資本の強化にも取り組み、売上高及び利益の拡大を目指して参ります。

この結果、当セグメントの業績は、売上高649百万円(前年同期比16.7%増)、セグメント利益61百万円(前年同期比6.7%減)になるものと予想しております。

▼セグメント別の連結売上高構成(連結)



株式の状況

(2024年3月31日現在)

総数

発行可能株式総数 2,000,000株

発行済株式の総数 1,009,580株

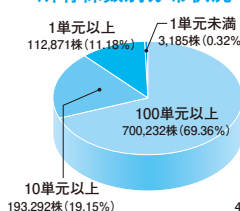
株主数 697名 (前年度期末比22名増)

大株主(上位10名)

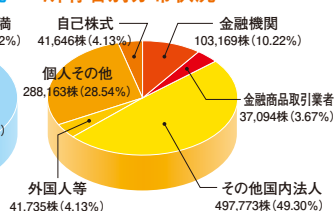
株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	241,309株	24.93%
公益財団法人南海育英会	155,450	16.05
株式会社百十四銀行	46,779	4.83
丸山 徹	37,376	3.86
小林 茂	30,277	3.12
上田八木短資株式会社	29,000	2.99
四国興業株式会社	24,563	2.53
株式会社愛媛銀行	24,310	2.51
株式会社商工組合中央金庫	20,000	2.06
INTERACTIVE BROKERS LLC	18,700	1.93

(注)当社は自己株式41,646株を所有しております。なお、持株比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出しております。

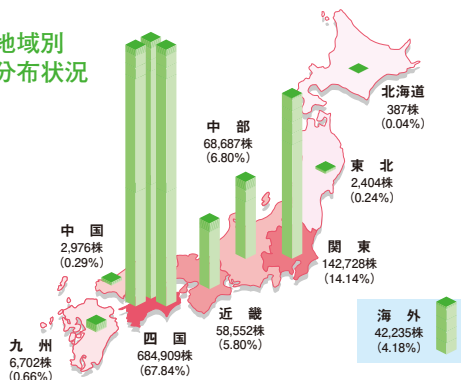
所有株数別分布状況



所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(2024年3月31日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
電話 087(825)3615 (人事総務グループ)

インターネットホームページ <https://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
資本金 21億21百万円
従業員数 431名(連結1,810名)
事業内容 建築内装材の製造・販売
事業所 志度工場
〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
物流センター
〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
朝日新町資材物流センター
〒760-0064 香川県高松市朝日新町36番52号

役員

(2024年3月31日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	執行役員	渡邊 浩平
取締役・上席執行役員	丸山 宏	執行役員	清水 広志
取締役・上席執行役員	藤本 英二	執行役員	松下 直樹
取締役・上席執行役員	大川 正仁	執行役員	西谷 文雄
取締役・上席執行役員	浮田 貴仁	執行役員	野生須 賢司
取締役(社外)	村田 剛	執行役員	丸山 瑛
常勤監査役	玉置 康洋	執行役員	原 朋仁
監査役	大川 俊徳		
監査役	岩部 達雄		

連結子会社

(2024年3月31日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社
PT.NANKAI INDONESIA
NP ROLPIN SAS
ROLKEM SAS
電線関連事業 ナンリツ株式会社
一般管工事業 南海化工株式会社

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード 7887)
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 郵便物送付先／各種お問合せ先
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取り等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座のない株主様につきましては、当社が特別口座を開設し管理していますので、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。